

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/08/05		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190584001001	科目番号 / Course code	05840010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEL0 15041_001		
授業科目名 / Course title	長崎地域学(L1~L6) / Activity of Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
科目分類 / Course Category	地域科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	学生会館 1 F 地域創生推進本部		
担当教員TEL/Tel	石松隆和		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日の3校時。必要に応じて事前連絡により別途対応可。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎の産業・技術、歴史や文化的な背景、自然地理上の特徴等を学び、多面的に長崎地域を知り、幅広い視点で地域が直面する諸問題に気づききっかけを作る。		
授業到達目標/Course goals	長崎の産業・技術、歴史や文化的な背景、自然地理上の特徴を学び、長崎の特徴や良さを説明できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の授業終了後にレポート提出を課す (80%)、 授業への積極的な参加・貢献度 (?%) を 総合的に判断して成績評価を行う。 なお、授業に出席した回数が3分の2に達しない場合は、失格とする。 ただし、講義期間中に指定するイベント活動 (平和祈念式典への参加や歴史文化博物館での講演等) で授業を代替可能である。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	長崎、地域、歴史、文化、産業、地域活性化		
教科書・教材・参考書/Materials	なし		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	なし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 。アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	知らない長崎を発見しましょう。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>富岡 勉/衆議院議員としてわが国の教育行政についての広い知見を有している。/長崎大学での医学部、医療技術短期大学の教員として、19年間、教育・臨床・研究に従事し、また、衆議院議員としてわが国の教育行政についての広い知見を活かして、地方創生についての講義を行う。/</p> <p>山川 剛/長崎平和推進協会、長崎の証言の会をとおして1998年からの被爆体験の語り手としての実務経験を有している。/担当予定教員は、8歳で被爆し、長崎市平和推進協議会、長崎証言の会、長崎被爆教職員の会の会員として、活水高校での長崎平和学の担当、被爆体験講和等を行い、長崎の被爆の語り部として勤めてきた実務経験を活かし、学生に長崎の歴史を伝える授業を実施する。/</p> <p>慎改 彰子/テレビ長崎での報道分野で長崎における20年を超える抱負な実務経験を有している。/テレビ長崎での報道分野で長崎における20年を超える抱負な実務経験を活かし、報道関係者の視線を通じて、これまで気づかなかった長崎について、また、長崎ならではの平和や災害活動についての授業を実施する。/</p> <p>柿田 紀子/カトリープロモーション合同会社での、SNSを使ったビジネスに関する実務経験を有している。/カトリープロモーション合同会社での、SNSを使ったビジネスに関する実務経験を活かし、地域創生に貢献できる人材育成を目的として、起業後の地域貢献活動を通し、本講師自らが実践してきたSNSを活用するビジネス、商品プロモーションの手法、さらに起業と多様な就業のありかたについて授業を実施する。/</p> <p>赤瀬 浩/長崎市文化観光部 長崎研究所 主幹、長崎市長崎学研究所・所長。長崎市内の小学校の教諭を務めたのちに、現在、長崎市文化観光部長崎学研究所の主幹での実務経験を有している。/長崎市内の小学校の教諭を務めたのちに、現在、長崎市文化観光部長崎学研究所の主幹での実務経験を活かし、鎖国時代の長崎と町民に関する生活について、学生たちに知識の教授を行う。/</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「本授業科目の目指すもの」 コーディネータが実施
第2回	長崎とキリスト教について学ぶ
第3回	国会議員から地域の活性化について学ぶ
第4回	長崎の歴史を絵画を通して学ぶ
第5回	被爆者から平和について学ぶ特別講師：
第6回	若手女性経営者から働くことを学ぶ
第7回	教育分野の先輩から学ぶ
第8回	報道関係者より長崎で起こったことを学ぶ

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/08/05		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190584001002	科目番号 / Course code	05840010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEL0 15041_001		
授業科目名 / Course title	長崎地域学(E1~E6) / Activity of Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
科目分類 / Course Category	地域科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	学生会館1F 地域創生推進本部		
担当教員TEL/Tel	095781922107		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日の3校時。必要に応じて事前連絡により別途対応可。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎の産業・技術、歴史や文化的な背景、自然地理上の特徴等を学び、多面的に長崎地域を知り、幅広い視点で地域が直面する諸問題に気づききっかけを作る。		
授業到達目標/Course goals	長崎の産業・技術、歴史や文化的な背景、自然地理上の特徴を学び、長崎の特徴や良さを説明できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回の授業終了後にレポート提出を課す(80%)、授業への積極的な参加・貢献度(?)を総合的に判断して成績評価を行う。ただし、講義期間中に指定するイベント活動(平和祈念式典への参加や歴史文化博物館での講演等)で授業を代替可能である。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	長崎、地域、歴史、文化、産業、地域活性化		
教科書・教材・参考書 / Materials	なし		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	知らない長崎を発見しましょう。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>山川 剛/長崎平和推進協会、長崎の証言の会をとおして1998年からの被爆体験の語り手としての実務経験を有している。/担当予定教員は、8歳で被爆し、長崎市平和推進協議会、長崎証言の会、長崎被爆教職員会の会の会員として、活水高校での長崎平和学の担当、被爆体験講和等を行い、長崎の被爆の語り部として勤めてきた実務経験を活かし、学生に長崎の歴史を伝える授業を実施する。/</p> <p>平家 達史/日本銀行長崎支店での実務経験を有している。/日本銀行において、これまで30近くの国内の金融業務に携わり、また、現在は長崎支店長の実務経験を活かし、金融面から見た長崎の現状と今後について語ってもらうことで、学生に地域についての的確な状況を理解させて、今後の自身のキャリアをどうすべきかについて考えさせる授業を実施する。/</p> <p>森田 孝明/長崎県産業労働部海洋・環境産業創造課 課長、未来イノベーション機構(長崎県産業労働部)。長崎県職員として土木部、総務部を経たのちに、現在、海洋・環境産業分野において産業創出に取り組んでいる経験を有している。/長崎県職員として土木部、総務部を経たのちに、現在、海洋・環境産業分野において産業創出に取り組んでいる経験を活かし、長崎県の今後の産業創出や地域貢献に関して、グループワークでのPBLを実施することで知識の定着を図る。/</p> <p>赤瀬 浩/長崎市文化観光部 長崎研究所 主幹、長崎市長崎学研究所・所長。長崎市内の小学校の教諭を務めたのちに、現在、長崎市文化観光部長崎学研究所の主幹での実務経験を有している。/長崎市内の小学校の教諭を務めたのちに、現在、長崎市文化観光部長崎学研究所の主幹での実務経験を活かし、鎖国時代の長崎と町民に関する生活について、学生たちに知識の教授を行う。/</p> <p>竹山 敦幸/日本生命保険相互会社 金融法人 業務部 金融顧問及び銀行顧問。(株)十八銀行において、行員、支店長、上席営業推進役の実務経験を有している。/(株)十八銀行において、行員、支店長、上席営業推進役の実務経験及び日本生命総合会社の金融顧問としての経験を活かし、地域の金融現場に詳しい専門家として今後の地域金融業について知識の修得を図る。/</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「本授業科目の目指すもの」 コーディネータが実施
第2回	「長崎と宗教」長崎とキリスト教についての歴史
第3回	若手事業者より起業について学ぶ
第4回	長崎の平和について被爆者から学ぶ 特別講師：山川 剛
第5回	江戸時代の生活について絵画を通して学ぶ
第6回	金融機関の先輩から地域経済について学ぶ
第7回	海洋エネルギー産業の活性化について先輩から学ぶ
第8回	日銀長崎支店長より、長崎の活性化戦略について学ぶ

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/08/06		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190584001003	科目番号 / Course code	05840010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEL0 15041_001		
授業科目名 / Course title	長崎地域学(G1~G3_P1・P2) / Activity of Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
科目分類 / Course Category	地域科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部 薬学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ishi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	学生会館1F 地域創生推進本部		
担当教員TEL/Tel	09578192107		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日の3校時。必要に応じて事前連絡により別途対応可。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎の産業・技術、歴史や文化的な背景、自然地理上の特徴等を学び、多面的に長崎地域を知り、幅広い視点で地域が直面する諸問題に気づききっかけを作る。		
授業到達目標/Course goals	長崎の産業・技術、歴史や文化的な背景、自然地理上の特徴を学び、長崎の特徴や良さを説明できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回の授業時に行う小テスト(60%)、ミニレポートの提出を含む授業への積極的な参加・貢献度(40%)を総合的に判断して成績評価を行う。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。 ただし、講義期間中に指定するイベント活動(平和祈念式典への参加や歴史文化博物館での講演等)で授業を代替可能である。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	長崎、地域、歴史、文化、産業、地域活性化		
教科書・教材・参考書 / Materials	なし		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	知らない長崎を発見しましょう。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>城臺 美弥子/長崎平和推進協会、長崎の証言の会をとおして1998年からの被爆体験の語り手としての実務経験を有している。/担当予定教員は、6歳で被爆、小学校の教員を退職後、1998年からの被爆体験の語り手としての実務経験を活かし、大学の学生に原爆について、また被爆者の思いについて、平和について講義を行う。/</p> <p>志久 弘樹/長崎文化放送(NCC)に所属し、長崎県内各地でのこれまでの歴史・文化を報道関係者の視点からの考察を行ってきた実務経験を有している。/長崎文化放送(NCC)に所属し、長崎県内各地でのこれまでの歴史・文化を報道関係者の視点からの考察を行ってきた実務経験を活かし、学生に地域を理解する新しい視点に目覚めさせる授業を行う。/</p> <p>船橋 修一/九州教具株式会社 代表取締役社長として業績を大幅に伸ばし、地域で活躍する企業に成長させた経験を有している。/九州教具株式会社代表取締役の実務経験を活かし、企業経営者としての手腕を活かし、現所属県内企業を、県内のダイバシティーのお手本とされる企業に発展させた取り組みを題材に授業を実施する。/</p> <p>柚木 達矢/ハウステンボス(株)営業統括本部部長として澤田社長と共に、今日のハウステンボスの発展に大きく貢献してきた経験を有している。/ハウステンボスの支社長、パーク&営業推進室 室長、営業統括本部部長等を歴任し、澤田社長と共に、今日のハウステンボスの発展に大きく貢献してきた経験を活かし、ハウステンボスの発展が、どのようになされたか、また今後どのように目指されているかを、学生たちが聞くことで、企業の在り方を学び、学生たちの今後の勉学意欲、さらに将来の就労意欲を高める授業を実施する。/</p> <p>矢田 純子/長崎歴史文化博物館・研究員の実務経験を有している。/長崎歴史文化博物館・研究員の実務経験を活かし、長崎の歴史や文化的背景、特にオランダとの交流及び伝統行事であるおくんちや、長崎の近世における洗濯業まで、生活に密着した観点からの授業を実施する。/</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「本授業科目の目指すもの」 コーディネータが実施
第2回	長崎の幕末時代について学ぶ
第3回	長崎の飲食関係者から企業経営について学ぶ
第4回	長崎のキリスト教について学ぶ
第5回	被爆者から平和について学ぶ
第6回	報道関係者を通じて長崎を学ぶ
第7回	ハウステンボスの経営戦略を学ぶ
第8回	長崎の若手経営者からこれからの長崎の活性化について学ぶ

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/07/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190584001004	科目番号 / Course code	05840010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEL0 15041_001		
授業科目名 / Course title	長崎地域学(M1~M6_D1・D2) / Activity of Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
科目分類 / Course Category	地域科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部医学科 医学部保健学科		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ishi_nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	学生会館1F 地域創生推進本部		
担当教員TEL/Tel	095?819?2107		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日の3校時。必要に応じて事前連絡により別途対応可。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎の産業・技術、歴史や文化的な背景、自然地理上の特徴等を学び、多面的に長崎地域を知り、幅広い視点で地域が直面する諸問題に気づききっかけを作る。		
授業到達目標/Course goals	長崎の産業・技術、歴史や文化的な背景、自然地理上の特徴を学び、長崎の特徴や良さを説明できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回の授業終了後にレポート提出を課す(80%)、授業への積極的な参加・貢献度(?)を総合的に判断して成績評価を行う。 なお、授業に出席した回数が3分の2に達しない場合は、失格とする。 ただし、講義期間中に指定するイベント活動(平和祈念式典への参加や歴史文化博物館での講演等)で授業を代替可能である。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	長崎、地域、歴史、文化、産業、地域活性化		
教科書・教材・参考書 / Materials	なし		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	知らない長崎を発見しましょう。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>城臺 美弥子/長崎平和推進協会、長崎の証言の会をとおして1998年からの被爆体験の語り手としての実務経験を有している。/担当予定教員は、6歳で被爆、小学校の教員を退職後、1998年からの被爆体験の語り手としての実務経験を活かし、大学の学生に原爆について、また被爆者の思いについて、平和について講義を行う。/</p> <p>矢田 純子/長崎歴史文化博物館・研究員の実務経験を有している。/長崎歴史文化博物館・研究員の実務経験を活かし、長崎の歴史や文化的背景、特にオランダとの交流及び伝統行事であるおくんちや、長崎の近世における洗濯業まで、生活に密着した観点からの授業を実施する。/</p> <p>野間田 真紀子/プロジェクトマムさくらの里助産院・助産院などの助産婦業務の実務経験を持つ。/長崎原爆病院や井上産科婦人科など助産婦業務を経て、さくらの里助産院を開業している本講師は、長崎市の参加現場について、積極的に公演等で助産業務を伝えており、現場における助産師の活躍を学生に紹介し、地域人材に関する興味を深める。/</p> <p>中村 康司/歯科医院の院長を務めた実務経験を有している。/市内で歯科医院の院長を務めた実務経験を活かし、長崎県の歯科事情について授業を実施する。/</p> <p>赤瀬 浩/長崎市文化観光部 長崎研究所 主幹、長崎市長崎学研究所・所長。長崎市内の小学校の教諭を務めたのちに、現在、長崎市文化観光部長崎学研究所の主幹での実務経験を有している。/長崎市内の小学校の教諭を務めたのちに、現在、長崎市文化観光部長崎学研究所の主幹での実務経験を活かし、鎖国時代の長崎と町民に関する生活について、学生たちに知識の教授を行う。/</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「本授業科目の目指すもの」 コーディネータが実施 特別講師：安徳 勝憲
第2回	「長崎の幕末・文化」長崎歴史文化博物館の講師が担当
第3回	長崎とキリスト教との関わりについて
第4回	長崎の平和について被爆者から学ぶ 特別講師：城臺 美弥子
第5回	江戸時代の長崎の生活について絵画から学ぶ
第6回	先輩の助産師から学ぶ地域医療
第7回	先輩から離島医療での活躍を学ぶ
第8回	先輩から地域の歯科診療について学ぶ

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/07/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190584001005	科目番号 / Course code	05840010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEL0 15041_001		
授業科目名 / Course title	長崎地域学(F1~F3_K1~K3) / Activity of Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
科目分類 / Course Category	地域科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	水産学部 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	学生会館1F 地域創生推進本部		
担当教員TEL/Tel	095781922107		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日の3校時。必要に応じて事前連絡により別途対応可。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎の産業・技術、歴史や文化的な背景、自然地理上の特徴等を学び、多面的に長崎地域を知り、幅広い視点で地域が直面する諸問題に気づききっかけを作る。		
授業到達目標/Course goals	長崎の産業・技術、歴史や文化的な背景、自然地理上の特徴を学び、長崎の特徴や良さを説明できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回の授業終了後にレポート提出を課す(80%)、授業への積極的な参加・貢献度(?)を総合的に判断して成績評価を行う。 なお、授業に出席した回数が3分の2に達しない場合は、失格とする。 ただし、講義期間中に指定するイベント活動(平和祈念式典への参加や歴史文化博物館での講演等)で授業を代替可能である。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	長崎、地域、歴史、文化、産業、地域活性化		
教科書・教材・参考書 / Materials	なし		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	知らない長崎を発見しましょう。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>城臺 美弥子/長崎平和推進協会、長崎の証言の会をとおして1998年からの被爆体験の語り手としての実務経験を有している。/担当予定教員は、6歳で被爆、小学校の教員を退職後、1998年からの被爆体験の語り手としての実務経験を活かし、大学の学生に原爆について、また被爆者の思いについて、平和について講義を行う。/</p> <p>矢田 純子/長崎歴史文化博物館・研究員の実務経験を有している。/長崎歴史文化博物館・研究員の実務経験を活かし、長崎の歴史や文化的背景、特にオランダとの交流及び伝統行事であるおくんちや、長崎の近世における洗濯業まで、生活に密着した観点からの授業を実施する。/</p> <p>岩本 諭/斜面地・空き家適用団体「つくる」・代表として地域資源の再利用をテーマに活動している経験を有している。/NPO斜面地・空き家適用団体「つくる」・代表として、長崎大浦地区での古民家を再利用などの街づくり活動の観点から授業を実施する。/</p> <p>赤瀬 浩/長崎市文化観光部 長崎研究所 主幹、長崎市長崎学研究所・所長。長崎市内の小学校の教諭を務めたのちに、現在、長崎市文化観光部長崎学研究所の主幹での実務経験を有している。/長崎市内の小学校の教諭を務めたのちに、現在、長崎市文化観光部長崎学研究所の主幹での実務経験を活かし、鎖国時代の長崎と町民に関する生活について、学生たちに知識の教授を行う。/</p> <p>城臺 美弥子/長崎平和推進協会、長崎の証言の会をとおして1998年からの被爆体験の語り手としての実務経験を有している。/担当予定教員は、6歳で被爆、小学校の教員を退職後、1998年からの被爆体験の語り手としての実務経験を活かし、大学の学生に原爆について、また被爆者の思いについて、平和について講義を行う。/</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「本授業科目の目指すもの」 コーディネータが実施 特別講師：安徳 勝憲
第2回	幕末時代の長崎の歴史について絵画を通して学ぶ
第3回	長崎とキリスト教について学ぶ
第4回	長崎の歴史を絵画で学ぶ
第5回	被爆者から学ぶ平和の大切さ
第6回	長崎の古民家活用を通して地域活性化を考える
第7回	長崎の行政関係者から学ぶ
第8回	長崎の産業について企業経営者から学ぶ

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190584001006	科目番号 / Course code	05840010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEL0 15041_001		
授業科目名 / Course title	長崎地域学(T1~T6) / Activity of Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
科目分類 / Course Category	地域科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部(T1からT5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	学生会館1F 地域創生推進本部		
担当教員TEL/Tel	095781922107		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日の3校時。必要に応じて事前連絡により別途対応可。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎の産業・技術、歴史や文化的な背景、自然地理上の特徴等を学び、多面的に長崎地域を知り、幅広い視点で地域が直面する諸問題に気づききっかけを作る。		
授業到達目標/Course goals	長崎の産業・技術、歴史や文化的な背景、自然地理上の特徴を学び、長崎の特徴や良さを説明できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の授業終了後にレポート提出を課す(80%)、 授業への積極的な参加・貢献度(?)を 総合的に判断して成績評価を行う。 なお、授業に出席した回数が3分の2に達しない場合は、失格とする。 ただし、講義期間中に指定するイベント活動(平和祈念式典への参加や歴史文化博物館での講演等) で授業を代替可能である。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	長崎、地域、歴史、文化、産業、地域活性化		
教科書・教材・参考書/Materials	なし		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	知らない長崎を発見しましょう。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>城臺 美弥子/長崎平和推進協会、長崎の証言の会をとおして1998 年からの被爆体験の語り手としての の実務経験を有している。/担当予定教員は、6 歳で被爆、小学校の教員を退職後、1998 年からの 被爆体験の語り手としての実務経験を活かし、大学の学生に原爆について、また被爆者の思いにつ いて、平和について講義を行う。/</p> <p>塚田 恵子/長崎放送株式会社において長崎県内各地でのこれまでの歴史・文化を、報道関係者の視点 からの考察を行ってきた経歴を実務経験を有している。/長崎放送株式会社において、長崎県内各地 でのこれまでの歴史・文化を、報道関係者の視点からの考察を行ってきた経歴を実務経験を活かし て、学生に地域を理解する新しい視点に目覚めさせる授業を行う。/</p> <p>矢田 純子/長崎歴史文化博物館・研究員の実務経験を有している。/長崎歴史文化博物館・研究員の 実務経験を活かし、長崎の歴史や文化的背景、特にオランダとの交流及び伝統行事であるおくんち や、長崎の近世における洗濯業まで、生活に密着した観点からの授業を実施する。/</p> <p>小林 洋平/(株)日本ベネックス・代表取締役社長としての実務経験を有している。/長崎県諫早市に 本社/工場を置く「日本ベネックス」の代表としての実務経験を活かし、国内の地理的条件を勘案 すると決して有利とはいえない長崎の地から、環境エネルギー事業への新規参入を通して、多面的 に長崎を知り、地域が直面する諸問題について指導する。/</p> <p>赤瀬 浩/長崎市文化観光部 長崎研究所 主幹、長崎市長崎学研究所・所長。長崎市内の小学校の教 諭を務めたのちに、現在、長崎市文化観光部長崎学研究所の主幹での実務経験を有している。/長崎 市内の小学校の教諭を務めたのちに、現在、長崎市文化観光部長崎学研究所の主幹での実務経験を 活かし、鎖国時代の長崎と町民に関する生活について、学生たちに知識の教授を行う。/</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「本授業科目の目指すもの」 コーディネータが実施
第2回	長崎の江戸時代の文化について絵画を通して学ぶ
第3回	長崎の平和について被爆者から学ぶ
第4回	「長崎と宗教」長崎とキリスト教についての歴史
第5回	長崎の歴史を絵画から学ぶ
第6回	報道関係者が長崎の取材を通して長崎を語る 特別講師：塚田 恵子
第7回	県内の若手経営者が長崎について語る
第8回	世界のトップを走る企業経営者から学ぶ

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190584001007	科目番号 / Course code	05840010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEL0 15041_001		
授業科目名 / Course title	長崎地域学(T7~T10) / Activity of Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
科目分類 / Course Category	地域科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部(構造工学コース、社会開発工学コース、社会物質コース)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ishi nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	学生会館1F 地域創生推進本部		
担当教員TEL/Tel	095781922107		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日の3校時。必要に応じて事前連絡により別途対応可。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎の産業・技術、歴史や文化的な背景、自然地理上の特徴等を学び、多面的に長崎地域を知り、幅広い視点で地域が直面する諸問題に気づききっかけを作る。		
授業到達目標/Course goals	長崎の産業・技術、歴史や文化的な背景、自然地理上の特徴を学び、長崎の特徴や良さを説明できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の授業終了後にレポート提出を課す(80%)、 授業への積極的な参加・貢献度(?)を 総合的に判断して成績評価を行う。 なお、授業に出席した回数が3分の2に達しない場合は、失格とする。 ただし、講義期間中に指定するイベント活動(平和祈念式典への参加や歴史文化博物館での講演等) で授業を代替可能である。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	長崎、地域、歴史、文化、産業、地域活性化		
教科書・教材・参考書/Materials	なし		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	知らない長崎を発見しましょう。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>山川 剛/長崎平和推進協会、長崎の証言の会をとおして1998年からの被爆体験の語り手としての実務経験を有している。/担当予定教員は、8歳で被爆し、長崎市平和推進協議会、長崎証言の会、長崎被爆教職員会の会の会員として、活水高校での長崎平和学の担当、被爆体験講和等を行い、長崎の被爆の語り部として勤めてきた実務経験を活かし、学生に長崎の歴史を伝える授業を実施する。/</p> <p>平家 達史/日本銀行長崎支店での実務経験を有している。/日本銀行において、これまで30近くの国内の金融業務に携わり、現在は長崎支店長の実務経験を活かし、金融面から見た長崎の現状と今後について語ってもらうことで、学生に地域についての的確な状況を理解させて、今後の自身のキャリアをどうすべきかについて考えさせる授業を実施する。/</p> <p>矢田 純子/長崎歴史文化博物館・研究員の実務経験を有している。/長崎歴史文化博物館・研究員の実務経験を活かし、長崎の歴史や文化的背景、特にオランダとの交流及び伝統行事であるおくんちや、長崎の近世における洗濯業まで、生活に密着した観点からの授業を実施する。/</p> <p>岩本 諭/斜面地・空き家適用団体「つくる」・代表として地域資源の再利用をテーマに活動している経験を有している。/NPO斜面地・空き家適用団体「つくる」・代表として、長崎大浦地区での古民家を再利用などの街づくり活動の観点から授業を実施する。/</p> <p>赤瀬 浩/長崎市文化観光部 長崎研究所 主幹、長崎市長崎学研究所・所長。長崎市内の小学校の教諭を務めたのちに、現在、長崎市文化観光部長崎学研究所の主幹での実務経験を有している。/長崎市内の小学校の教諭を務めたのちに、現在、長崎市文化観光部長崎学研究所の主幹での実務経験を活かし、鎖国時代の長崎と町民に関する生活について、学生たちに知識の教授を行う。/</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「本授業科目の目指すもの」
第2回	歴史資料を通して幕末時代における長崎の歴史について学ぶ
第3回	長崎の斜面住宅のリノベーションを行い、地域の活性化を目指す若者の活躍について学ぶ。
第4回	「長崎と宗教」長崎とキリスト教についての学ぶ
第5回	長崎の平和について被爆者から学ぶ
第6回	建築分野で活躍する若手事業者から、働くことについて学ぶ。
第7回	日本銀行長崎支店長より、長崎の活性化についての戦略を学ぶ。
第8回	長崎の国際性について歴史の観点より学ぶ。